

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

半年間を雪の中で過ごす児童たちは、暖房を安全に使用するために換気が大切なことは、知識ばかりでなく日常実践に生かしています。児童の日常を見ると「換気は換気扇を付ける」ことで「窓を開け通風をする」ことは見過ごされていることが多いです。また、外気が低温でも窓を開け放したままにして室温を急激に下げている場面も多くみられます。その様な実態を踏まえ、この題材を通し、自然を生かした換気をする「通風」が大事であることに気付かせ、快適に過ごすために工夫を考えていく力を育てていきたいと思えます。確実な理解につなげるために、風という目に見えない現象を実験器具などを用い視覚で明確化していきます。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A中心となる活動, B授業のねらいと特徴, C学習の流れ(指導計画))

A中心となる活動

- ① 暑い日の過ごし方を話し合い、暑さを防ぎ快適に過ごすための工夫に目を向け課題をもつ。
- ② 通風を利用する工夫を調べ、換気の大切さがわかる。
- ③ 学んだことを生かし、日常生活の中で環境に配慮しながら過ごす工夫を考える。

B授業のねらいと特徴

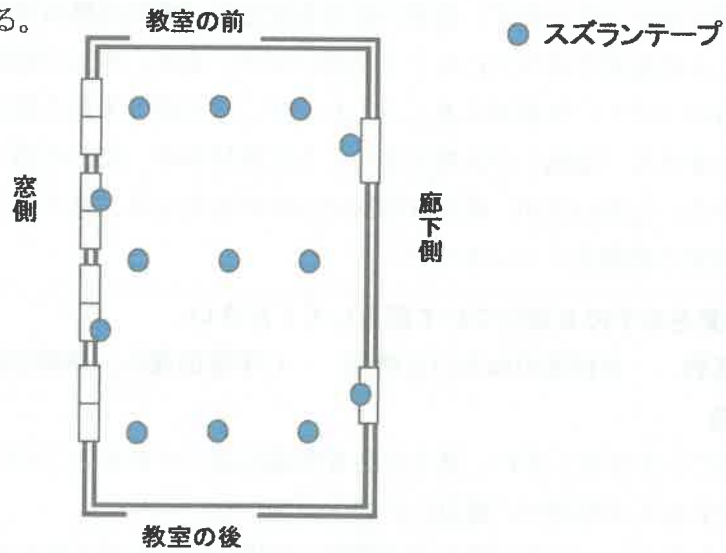
- ・暑い季節の住まい方に関心を持ち、通風・換気の実験を通し、日常快適に過ごす住まい方を理解し工夫することができるようにする。
- ・風通しと換気を見える形でとらえる授業づくりをする。
- ・実験器具(温湿度計、二酸化炭素検知計)を用い、風通しと換気の効果を数値化する。
- ・日常実践に生かす効果的な通風を考える。

C学習の流れ(指導計画)

時	活動の様子	実験用具など
1	暑い日はどのように過ごしているのかな ・暑さを防ぎ快適に過ごすための工夫に目を向ける ・すずしく過ごすために工夫を考える。 ・寒い季節とのちがいがわかる。	・騒音計
2	すずしい教室にするには、どうしたらいい? ・効果的な通風の仕方を進んで調べる。 ・窓の開閉による温度、湿度、二酸化炭素排出量の違いで効果的な通風が分かる。	・温湿度計 ・気体検知管 ・通風実験装置
3	通風プランナーになろう ・学んだことを生かし、日常実践に生かす計画をする。	・家の見取り図

その他特記事項がありましたらお書きください

- ・通風実験装置…スズランテープ1.5mを教室の天井に9か所、風の出入り口に垂らし風の方向を確認する。



※複数枚になってもかまいません。

※他に添付資料がありましたらお付けください。